

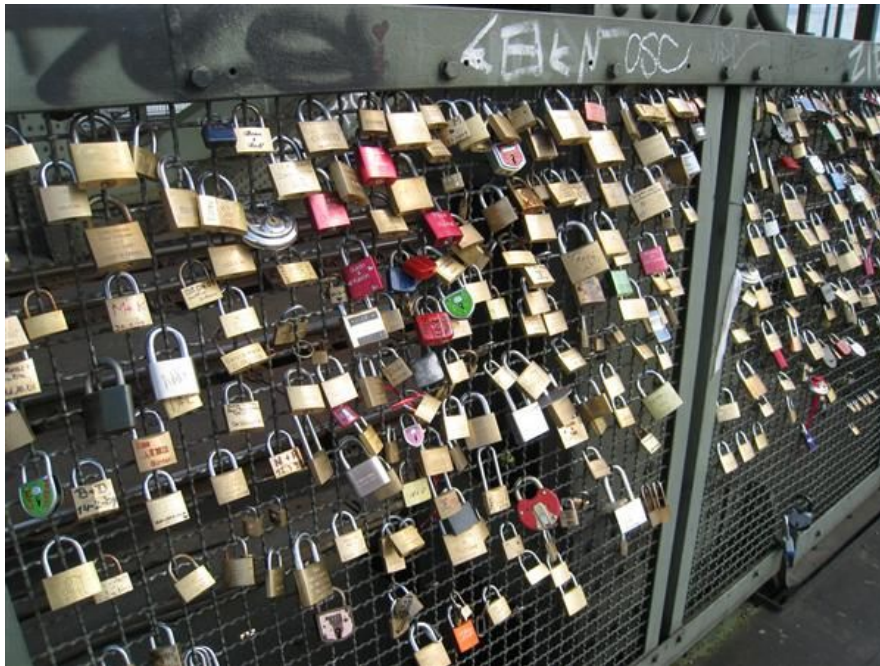
日本発ドイツ便り:ケルンの旧市街

ケルンの街の中には、大聖堂を除いて「これは！」という観光の目玉は少ないのですが、散歩をしていて楽しいのがライン河沿い～Altstadt(アルトシュタット:旧市街)です。だいたいこの写真に写っているのが旧市街の範囲になるでしょうか？



ところで、大聖堂の横にある大きな橋。人と電車のための橋なので、久々に渡ってみたのですが、以前にはなかったものを発見。この写真にも写っています。なんだかわかりますか？





拡大した写真です。鍵がいっぱい！鍵には名前が書かれていたり彫られていたり。自分の名前と恋人の名前を書いた鍵をこの橋のフェンスにロックすると二人は別れない。なんて言い伝え？がいつの間にかできたのでしょうかねえ？この調子でライン河を結ぶ長い橋にはすごい数の鍵がぶら下がっています。ドイツ人もそんな迷信というか言い伝えを信じるんですね～。ケルンにお越しの際に願掛け用の「鍵」をお持ちください。☺



河沿いにはこうやってずっと散歩道があります。大きなライン河を見ながら、散歩。ちょっと喉が乾いたら、たくさんあるお店で Kölsch(ケルシュ:ケルンのビール)を一杯。(?) 春から秋には遊覧船も出ています。ライン河下りも楽しいですよ。



河沿いには飲食店やホテルがずらりと並び、昼も夜も賑やかです。夏はもちろんテラスが大人気です。



昔 Fischmarkt(フィッシュマルクト:魚市場)のあった広場。この噴水のあたりでライン河で獲れた魚を売っていたんでしょうね。後の大きな建物は GroÙ Sankt Martin(大聖マーチン)という教会です。



有名な銅像 Tünnes と Schäl。ケルンの人形劇に出てくる2人の人物。性格がまったく違って、お互い相手のことを「やな奴」と心の中で思いながらも相手なしじゃ暮らせない。とかいう内容だったと思います。この像、ずっとどこにあるんだろ?と思いつつ、実は今回初めて発見しました!



建物の幅が狭いと思いませんか?なんでも一時建物の幅は3メートル(ちょっとこの数字はうろ覚えで、正しいかどうか分かりません)と決められていたようで、建物の幅はみんな同じなのです。

じゃ、右端の建物は？と思う方もあるでしょうが、これは3メートル×2と2軒分になっています。
ところで、真ん中のたてものの煙突の下についているの、なんだと思いますか？



しゃがむ男の子のようですが、どうもパンツ脱いでますよね……。なんでまたこんなポーズなんでしょうね？上を見上げていると、時々こんな不思議なものを見かけることもあります。☺



路地と石畳。ケルンにはアインシュタインにちなんだお店が結構あるのですが、なんか縁があるのかもしれない。私が、この街でドイツ語を勉強していた時によく通った Schwann(シュヴァン:白鳥)というこれまたアインシュタインにちなんだ有名な伝統あるカフェがあったのですが、いつのまにかなくなって、他の店に変わっていました。寂しいですね～。



これは旧市庁舎。

ドーム(大聖堂)を出発して、河を渡って、対岸からドームを眺め、旧市街を散歩。のんびり歩いて1.5時間くらいでしょうか？お散歩の供にソーセージにフライドポテト、ピッツァにアイス、果物など、買い食いはいつでも楽しいです。途中 Kölsch で休憩するもよし。(Kölsch は軽めのビールです。通常 200 ミリの小さなグラスで出てきます。ケルンの人は「Kölsch(ビール)を飲んで、Kölsch(ケルン語)を話して初めて Köln がわかる」のだといいますが、おそらくそのとおりでと思います。(ただし、ケルン語は難解ですが・・・)



そして旧市街、いつもどこかで大聖堂が見えますよ。(見守られているのかもしれませんが。◎)

まだちょっと面白いものはたくさんあるのですが、多分マニアックになるので、またの機会に。ケルンの旧市街をお散歩でした。